

授業 コード	11103	科目名	ジェンダーと世代		担当者		荒木 菜穂			
		副題	多様な生き方を考える		開講期	後期	単位数	2	DP対応	1,S1
【授業概要】										
この授業では、生活の場での、身近な問題としてのジェンダーについて考えます。ジェンダーについて考えることは、「男らしさ」「女らしさ」を取り巻く様々なことについて考えることです。社会の「あたりまえのことを疑う」という視点から、身近な問題としての恋愛や結婚、家族、教育、労働など現代社会で生きる上での様々な場面、切り口からジェンダーに関する社会のしくみについて学び、考えていきます。										
【到達目標】										
ジェンダーに関する「あたりまえ」を疑うために、さまざまな社会のしくみを説明できる。 視野を広げ「常識」を疑うという「しんどいこと」を、この授業を通じ柔軟にできるようになる。										
【授業方法・計画】										
それぞれの回の授業で扱った内容に関する時事問題がおそらく見つかると思います。各回の授業後、新聞やインターネットのニュースなどを見る際、そのような視点でニュースを探し考える習慣をつけることが望ましいです。										
第1回	ジェンダーについて～「男として生きること」「女として生きること」とは									
第2回	メディアにおける男女の描かれ方～マスメディアとステレオタイプの問題を中心に									
第3回	インターネット時代のジェンダー～メディア・リテラシーの重要性									
第4回	恋愛・結婚・家族とジェンダー(1)～イマドキの恋愛、愛と暴力など									
第5回	恋愛・結婚・家族とジェンダー(2)～現代社会と結婚									
第6回	恋愛・結婚・家族とジェンダー(3)～家族というしくみ									
第7回	女性解放運動(フェミニズム)の歴史について現代社会から考える									
第8回	身体と性～出産・健康・医療とジェンダー									
第9回	労働とジェンダー(1)～資本主義社会と女性労働									
第10回	労働とジェンダー(2)～ワークライフバランスを考える									
第11回	異なる文化における様々なジェンダー問題									
第12回	セクシュアリティとジェンダー～性をめぐる様々なこと									
第13回	これからの教育とジェンダー									
第14回	ジェンダーに関する今日的課題									
【準備学習・復習】										
各回の授業で扱った内容に関する時事問題がおそらく見つかると思います。各回の授業後、新聞やインターネットのニュースなどを見る際、そのような視点でニュースを探し考える習慣をつけることが望ましいです(200分)。										
【課題に対するフィードバックの方法】										
課題で提示する各問題に関する受講者の意見、提案について、関連動画やニュースなどを紹介しながら共有を行う。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
事情がないかぎり、遅刻、私語などは控えてください。										
成績評価方法	平常点(40%)と試験(60%)をもとに、総合的評価する。									
教科書	特にありません。									
参考書	特にありません。									
SS2203	授業に関連する実務経験				なし					